

神和台

平成2年3・22
第33号

であり、それだけに常に細かい配慮を欠くことなく、会員の総意に基づいた会の運営を心掛けて行かねばならないと決意を新たにした次第であります。

平成元年度を 終えるにあたつて

自治会長 森下 高行

波乱の幕明けとなつた平成元年度も三月で終り、四月より新たな年度にはいりますが、会員の皆様にはお変りございませんでしょか。

神和台を取り巻く環境も年々変化し、周辺の野山も道路やマンションに取つて変わるものますます増えてきたようあります。

名谷小学校の校舎北側には道路の造成工事が始まっています、西名谷地域でも明石架橋関連道路建設工事のため、用地の買収を前提とした測量が始まろうとしております。

神和台においても同様に、今年度はこの「道路問題」が最大の課題でありました。

結果については、広報紙などでご承知のとおり、神和台における新たな「車道」の建設は行なわないと既に決定いたしております。

このたびの道路問題については約二年の歳月を費やし、賛否両論の各立場から議論を尽くしてまいりましたが、他の地域と同様「開発優先」か「環境優先」かの価値観の大きな壁については最後まで会員間の合意が得られず、結果的に「今の現状を変更しない」とことで落ち着かざるをえませんでした。

この一年は自治会役員にとって、住民自治の難しさを痛感させられた大変長い一年であったように思います。

しかししながら、一方でこの道路問題の議論を繰り返すなかで会員間の対話が拡大し、自分達の住む街の将来について互いに語りあう機会が多くもてたことは大きな収穫であり、今後の環境問題等の検討に必ず役立つものと考えます。

自治会にとって、より良い住環境の維持管理は今後も永遠の課題

來たるべき新年度も自治会役員一同、さらに一層の頑張りで神和台の為に役立つ所存でありますので、変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう何卒宜しくお願ひ申し上げます。

「お山の杉の子」ではないけれどやがてゆさゆさとした大樹に育つ細いけれど蓄もつけています。

神和台自治会館の空地に、このたび二本の桜が植えされました。これは「神和台でも花見がしたい」との神和台クラブ・メンバーのかねての願いが叶えられたものです。

神和台十周年の記念植樹の意味もあり、大切に育て見守って行きたいものです。

桜の木



- 正真正銘の“さくら”です -

防災部

一年を振りみて

防災部としての今年度の行動はここまでテープを流し車で廻りました。

(4)自主防災主催で「シンナーに

ついて」の講演会・映画会を開催しました。当日、散策路でシンナー

一ト缶が二ヶ、ビニールの吸い

がら数箇みつかったのは、ひ

どいショックをうけました。(5)消防

音楽隊の方々に来ていただき、賑

やかに「防災の集い」を開催しま

した。(6)年末は恒例の夜廻りを子供

会と協力して行いました。

「反省会で話に出た今後の問題

と協力して行いました。

ここには今年中に横断歩道の印をつけていたことになりました。

また外周道路からメイン道路に曲がる手前に「とび出し注意」の看板もたてかけました。子供たちの自転車のとび出しが多いようで

す。(3)今年も「空き果、泥棒に入られ」たと耳にしましたので、月一

回でも見廻りしようと、九月も二

期放置。・メイン道路での両サイド

点

・バス停付近の自転車、バイクの長

時間の占めを減らすため、

駐車

・バス停のつる草はどこが始末してくるのか。・寒くなつてからの中学生の登校で、バス発車ぎりぎりに来て斜め横断をして乗つているのは、あれは非常に危い。

・神和台バス停付近の路上駐車は特に危い。・ガードレールの高さが運転手の目の高さと同じで見にくくて危い。(土木局へ二~三度云つたが、再度要望書を出す予定)

・街灯、公園の電灯について、電灯がつかない場合は、電灯の番号を直接、垂水土木局へ云つていただいた方が迅速に正確に処置していただける、と思います。その様にご努力をお願いいたします。

一年間防災部へのご協力ありがとうございました。

防災部長 河野和子

子供会一年間を ふりかえつて

子供会会长 坂江峯子

車両会員の方々も同様に、今年度も「正月会」「年中行事」など、子供会の活動が盛んになりました。



今年は自治会の十周年ということで盆踊りも二日間となり、子供会もこれに協賛してミニSLと風船パレードを予定しておりましたが、ご承知の通り雨の為中止になってしまいました。残念でしたが十月には秋まつりとしまして、諸団体（文庫、ママさんバー、学童）のご協力により模擬店も出していただき、さわやかな秋晴れのもと運動会を開催することが出来ました。写真是その時の自治会長の勇姿(?)です。あと三月二十一日に六年生のお別れ会を予定しております。あまり多くの事は出来ませんでしたが、大きな事故もなく無事行事を了えようとしておりました。本当に一年間有難うございました。

老人クラブだより

(神和台クラブ)



昭和63年6月1日 NO.2

待ち兼ねた春がやつてきました。私達高令者にとっては、何よりも嬉しい贈物です。「老人クラブの近況」をとの事ですので、主なクラブ活動、行事等をお知らせします。本クラブは神和台に居住する六十才以上の男女で、昭和五十五年に結成され、当三月現在で男子二十四名、女子四十五名、計六十九名で構成されています。

クラブ活動は、「会員相互の親睦をはかり、健康で明るく、豊かな生活環境をつくり、教養の向上、福祉の増進に寄与し」、地域社会に貢献する、という本会の目的達成の為に行われます。

「誕生会」月一回、その月に誕生日を迎えた会員を招待して、さやか乍らお祝いの席を設け、出席者の有志で、のど自慢等を披露して会を盛り上げています。日頃のよもやま話に花が咲く事はいうまでありません。

「詩吟」各週水曜日十時より、月四回、「俳画」第四水曜日十時より、月一回、「お花」第二、第四水曜日十八時より、月二回、俳句、カラオケ、民謡は、先生の都合で日下お休み中です。囲碁、将棋は同好者募集中。「ゲートボール」各週火、木、土、の週三回、九時より北公園にて練習、その間随時公式親善試合にも参加します。成績は強い?です。その他、春秋二回

菜の花や月は東に日は西に
藤村